予算編成について

伊藤勝美

【質問】個人市民税、法人市民税など、平成28年度の税収はどのように見込んでいるのか。

【答弁】【市長】予算編成の市税については、財源の根幹をなすものであり、国の税制改正や経済動向を十分把握しながら収入見積もりを行なっている。平成27年度当初予算並みの税収を見込んでいるが、経済状況等により、平成28年度の当初予算案を提案する際に変更となる可能性もある。

【質問】平成28年度の予算編成に当たり、市長が目指す方針はどのようなものか。

【答弁】【市長】白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた施策が主体となり、また、第5次総合計画に基づき進めている既存事業を一体として取り組みながら、人口減少対策という喫緊の課題に的確に対応していきたいと考えている。

【質問】各地区・自治会からの要望等に関して、どのような基準、考えで予算付けをしているのか。

【答弁】【市長】要望等については、その内容の見直しをしっかり行い、付けられるところは付けていくよう、適宜対応していく。

◎「新電力」でのコスト削減の取り組みについて

【質問】最近、先進自治体では、公共施設などを「新電力」からの電力調達により電気料金の削減に一定の効果を上げている。

平成26年2月に行った私の一般質問「新電力について」に対する市長の答弁は、「ほかの自治体等の事例や動向を注視しながら、慎重に検討していきたいと考えている」と答弁しているが、その後の検討状況はどうなっているのか。

【答弁】【市長】新電力を含め、自治体の立場としての電力供給のあり方について、いろいろ検討してきた。

本市の地域防災計画の中において、東北電力は指定公共機関として重要な位置づけにあり、最悪の非常時も想定して電力の安定供給を図る必要がある。

そのため、現在の東北電力からの電力供給は継続していきたいと考えている。

【その他の質問】

◎道路交通法にともなう自転車運転について

◎小・中学校の将来構想について

子ども屋内あそび場整備事業について

山田裕一

【質問】平成25年2月定例会において、私は子育て支援施策として、子ども室内運動場整備の必要性について一般質問を行った。

市長は、「白石市が持っている既存施設を活用して整備できないか、前向きに検討していきたい」と答弁された。

しかし、その後の動きがまったく感じられないでいたが、白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略には、地方創生新規事業として、「屋内あそび場整備事業」が掲げられている。

そこで、今後の整備計画等について、市長の所見を伺う。

【答弁】【市長】既存施設の活用を検討した結果、難しいとの結論となった。そこで現在、新たな施設整備として、平成28年度中の事業着手を目標に検討しており、担当課において平成27年10月下旬に近隣市町の屋内あそび場の視察を行った。

今後、施設整備に活用できる交付金等、財源確保に向けて最大限の努力をしながら、子育て世代の方々の意見を聞き、利用者のニーズにあった施設整備をしていきたい。

【質問】前回の一般質問で山形県東根市の「けやきホール」を例に挙げたが、あのような大規模施設は、ほかに見たことがない。

現在、大型のショッピングモール等でも、子どもを遊ばせる空間は整備されているが、市長がイメージしている施設の規模等について伺う。

【答弁】【市長】東根市のような施設があれば良いと思うが、そこまでの施設が白石に必要なのかどうか。そのため、近隣市町を参考にしながら、利用する方がどのようなものを望むのかを重視していきたいと考えている。

【質問】近隣にない素晴らしい施設であれば、市外や県外から人を呼び込むことができ、将来的に白石での子育てにつながると考える。

ぜひ、攻めの姿勢で考えていただきたいと思うがいかがか。

【答弁】【市長】白石の施設に外から人を呼びたいと考えているので、使いやすく、魅力のある施設をつくっていかなければならないと考えている。

【その他の質問】

◎災害対応型飲料自動販売機を活用した防犯カメラ設置について

◎スポーツ少年団の支援について